

このコーナーは、神戸新聞の学生リポーターが執筆したリポートを編集して掲載しています。

学園リポート



学生主体のオープンキャンパス



大学を受験生に開放し、各校の特色などについて説明する「オープンキャンパス」を、各大学が開いている。多くの大学では学校当局がイベントを企画するが、甲南大マネジメント創造学部(CUBE)は大学が主催しつつも、学生が企画運営を行うユニークな方法に取り組んでいる＝写真。

急西宮北口駅南の甲南大西宮キャンパスにある。今年のオープンキャンパスには約60人の学生が関わる。学部説明会や個別相談などのほか、入試の一部が経験できる「グループワーク体験会」、英語のみで会話する施設の開放イベントなど、学生企画ならではのプログラムが並ぶ。グループワークは多くの受験生がぶっつけ本番で臨むため、練習の場を提供しようと発案した。CUBEオープンキャンパス委員の辻佳里さん(18)は「私たちは受験生とほとんど変わらない年齢。何をしてあげられるのかを、いつも考えています」と熱く語る。

CUBEは2009年に開設された比較的新しい学部で、阪

オープンキャンパスの日程は16日と8月6日。詳細は大学のホームページなどに掲載している。(甲南大マネジメント創造学部3年・若林瑞穂)



母校の演劇部で演技指導

甲南大マネジメント創造学部3年の本木哲久さん(20)が、母校の滝川第二高校(神戸市西区)の演劇部で、部員たちに演技指導を行っている＝写真。全国の高校演劇部が集まる舞台を目指し、週に2〜3回、後輩たちと稽古で汗を流す。同部は2014年の全国大会に出場するなど、強豪として知られる。本木さんは面倒見の良さが買われ、顧問の教員から依頼されて昨年末、コーチに就いた。人気者の本木さんは、いつもにぎやかな後輩たちに



囲まれる。だが稽古が始まると一転、歩き方一つまで細かく指摘。「観劇に来てくれる人に満足してもらおうには、まだまだ足りない」と厳しい表情を見せる。目標は部員たちと全国大会に行くことだが、まずは「お客さまに満足してもらうことが大切だ」という気持ちを教えたい」と話す。後輩への指導を機に、本木さん自身も演劇学校に通い始めた。「将来は俳優も目指してみたいが、ホテル業界にも興味がある。お客さんを笑顔にする仕事したい」と夢を語る。

次の舞台は8月6日に神戸・三宮で。滝川第二高校 ☎078・961・2368 1 (甲南大マネジメント創造学部3年・若林瑞穂)

◇「キャンパス」面は毎月第2水曜に掲載します。